

星花きらめく



令和2年4月9日(木)

長野市立裾花中学校

NO. 2

☆来週からの臨時休業にかかわるお知らせ☆

既にご存じのように、昨日夕方、長野市教育委員会からメール配信があり、来週4月13日(月)から4月24日(金)まで臨時休業となります。

併せて、本日、長野市教育委員会事務局学校教育課長から市内統一の「4月13日(月)からの一斉臨時休業について」という通知が出されました。

これを受け、本校でも来週4月13日(月)から4月24日(金)までの2週間、臨時休業といたします。また、臨時休業中の児童生徒の学習や生活、健康管理等のための準備をより確実なものとするため、4月13日(月)から15日(水)までの3日間を準備登校日として設定します。

この3日間は、臨時休業中の学習や生活等について心配される声もあることから、これまでの学校生活同様、三密空間の回避に努めた上で準備登校日として設けております。なお、この3日間の準備登校日は、授業日数には含みませんので、万一登校について不安がある場合には、参加を見合わせていただいて構いません。また、午前中のみ登校となりますが、給食は通常通り提供いたします。

この準備登校日の3日間について、本校では次のように対応・指導していきます。

① 検温及び健康チェック(6項目)を行った上での登校

昨日メール配信させていただきましたように、「健康チェック表」を朝のうちに学級担任または副担任等に提出し、健康状態を確認します。

家を出る段階で、「健康チェック表」の1～6の項目に該当するなど、体調がすぐれないような場合には、無理をせず登校を控えてください。

※ なお、この3日間は登校日ではありませんが、生徒の所在と安全確認のため、学校に登校しない場合は、その旨、連絡を入れていただきますようお願いいたします。

② 3日間の学習内容は、家庭で学習や生活を進めていくための準備として、各教科担任が課題を与え、それを実施していく形になります。各教科から出される休業中の課題等を実施していく上で、学習方法や生活の仕方、また、そのほか質問事項も受け付け、16日(木)以降の家庭での学習や生活がスムーズに移行していくための機会とします。

③ 不安を感じて参加を見合わせた生徒に対しては、電話連絡などの手段を通じて、学習相談や生活相談等にも応じ、アドバイスなどをしていきます。(参加しなかった生徒すべてに、学級担任や副担任が、その日のうちに対応できるかはわかりません。状況に応じて、学年職員などが対応させていただいたり、翌日以降電話をかけさせてもらったりする可能性もあります。ご承知おきください。)

- ④ 午前中4時間の学習時間を設け、給食を食べた後、下校となります。
下校時刻は、概ね13:50~14:00頃となります。
(各学年・クラス等、下校時の密集を避けるため、下校時刻を分散させての下校となります。)
- ⑤ 部活動は実施いたしません。下校後は、寄り道などせず、また帰宅後も不要不急の外出は避けるようお願いいたします。
- ⑥ これまで同様、マスクの着用にご協力ください。
手作りマスクの作り方については「文部科学省 子どもの学び応援コンテンツ集 マスクを作りたい」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00460.utml をご覧ください。

※以上の「一斉臨時休業」や「準備登校日」、またその間の対応等につきましては、現段階の予定であり、市内の感染状況等により変更する場合があります。その際は、メール等にて変更点などをお知らせしていきます。ご了承ください。

これまでも本校では、4月6日(月)の入学式・始業式以降、前回の学校便り(No.1)でお知らせしたように新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に取り組んできました。

以下に、取り組みや対策の状況や、その様子(写真)を載せさせていただきました。

※集団感染のリスクへの対応及び感染症防止の措置について

- (1) 集団感染のリスクへの対応…「3密空間(密閉、密接、密集)」を避けるために、
- ① 換気の徹底 → 授業前後及び授業中の換気(2方向以上)
 - ② 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮 → 授業は前向き或いは間隔を空けた座席で
 - ③ 近距離での会話や大声での発声はできるだけ控える → 活動場面や活動方法を工夫
- ※多くの人数が集まらなければならないような場合は、北体育館や南体育館を使用し、十分間隔を空けて実施しています。
- ※休み時間は、自然と生徒同士の距離感が縮まりやすいので、職員で声をかけながら注意喚起をしています。
- (2) 感染症防止の措置について
- ① 健康観察 → 登校前の検温及び健康チェック(6項目)の実施
登校時の健康チェック表の回収確認と健康観察
 - ② 手洗いや咳エチケット → 授業前後の手洗いの徹底、咳エチケットのマナー指導
 - ③ 手指がよく触れる物の表面の消毒 → 放課後、各学年職員による消毒作業

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策を次のように行っていきます。
ご協力をお願いします。

1. 手洗いの励行

○手洗いが予防の基本！
石けんをつけてよくこすり、流水で15秒以上こすりながら流す。
【裏面参照】



2. 石けんポンプの設置確認・石けん液の補充について

各学年及び管理責任者の先生方確認をお願いします。

○石けんポンプ設置数	生徒がよく使用する廊下	3本
	トイレ等必要箇所	1本

※不足数と必要箇所名を保健室までお知らせ下さい。

○石けん液の補充

保健委員の活動が始まるまで、学年対応をお願いします。

石けん液の入ったポリタンクで補充して下さい。

3. アルコール消毒について

○基本給食当番の生徒にのみ手指に使用して下さい。
現在学校には消毒用アルコールの備蓄に余裕がありません。



4. よく触れる部分の消毒について

学年で分担して作業をお願いします。

①窓等開け、十分換気した状況で実施。

②マスク、手袋を着用。ビニール手袋を保健室から配布。

→ビニール手袋が用意できるまで使い捨て手袋を使用。

◎消毒場所	教室	出入りのドア、机、椅子、その他
	トイレ	出入りのドア、個室のドア、水道蛇口
	その他必要箇所	廊下階段の手すり、流しの蛇口など

③次亜塩素酸ナトリウムを薄めた消毒液を保健室から配布します。
バケツに入れ、雑巾を浸し、しぼって必要箇所をふく。(今週中)
(準備できしだい配布予定：消毒液入りスプレーボトル
スプレーで消毒液をふきかけ、水拭きする)

その後、水拭きをする。(金属部分が腐食することがあるので水拭き)

④消毒に必要なバケツ、雑巾は学年で用意をお願いします。

※不明な点は保健室までお知らせ下さい。

※消毒に必要な物品が十分に準備できない部分もありますが、ご協力をお願いします。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをわじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

保健室から先生方に消毒作業の仕方(提示)

正しい手の洗い方(生徒向け～掲示用～)

以下、放課後の職員消毒作業の様子です



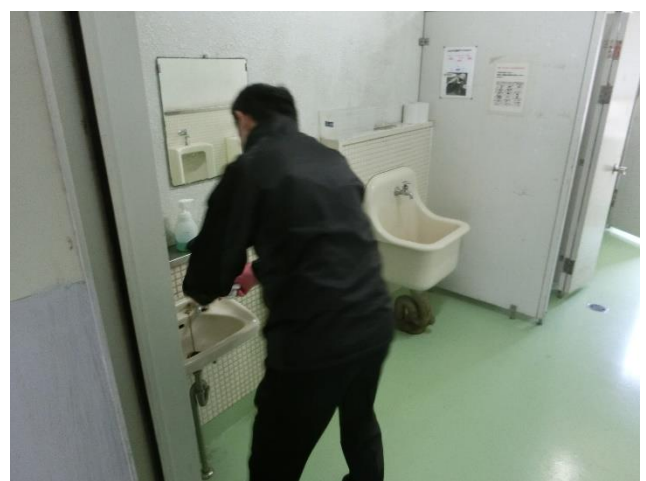
手すり



教室内① (机・椅子など)



教室内② (机・椅子など)



トイレ内 (手洗い場など)

最後に、1学期始業式で校長先生が話された内容を掲載します。お読みください。

1学期始業式～校長先生のお話より抜粋～

～前段、略～

今、世界は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、これまでに蓄積してきた全叡智を結集し、対策に取り組んでいる最中であり、混乱の中にあります。6ヶ月前、この状況を想定した人はいたでしょうか？さらに、6ヶ月前の10月6日、令和元年度東日本台風の襲来により、私たちが住む長野市が甚大な災害を被りましたが、それを想定していた人はいたでしょうか。

恐らく、二つともNoでしょう。

今まで起こらなかったことは、今後も起こらないわけではないということ、私たちは学びました。

このような状況の中、これからの時代を生きる皆さんに求められる力は、ただ単に多くの知識を習得したり技術を身につけたりすることではなく、それを応用し、このような未知の状況に対応する力をつけていくことだと言われています。

これを受け、今年度、裾花中学校は、「時と人のつながりの中で、自ら考え、判断し、行動する生徒」（「自立」する生徒）を、育てていきたいと考えました。

裾花中学校は、61年という年月の中で、先輩、保護者、地域の皆さん、そして、先生方が力を合わせ、歴史を積み重ね、現在の学校を作ってきてくださいました。私は、その中で作られてきた校風を、「底抜けの明るさ」と「溢れんばかりのパワー」としてきました。かつて裾花中学校には、その明るさやパワーをうまくコントロールできず、生徒指導上、困難を極める時代がありましたが、生徒会を中心に「裾花中学校人権宣言」を決議したり、給食のコンテナ室入室に取り組んだり、清掃で黙想や無言に取り組んだりしながら、乗り越えてきました。先生方、保護者、地域の皆さん等々の支えを受けながら、生徒が主体となり、主人公となり、学校生活を作り上げてきたのです。

みなさん、自分たちの学校生活を、自らの中学校生活を、自らの夢を実現するため、自らの力によって作り上げていきましょう。

そのために、大切なことは、過去に縛られず、失敗を恐れずに、挑戦することだと思います。ここで、今の日本の礎を築いてきた、先人の言葉を紹介したいと思います。～中略～

UNIQLOを中心としたファーストリテイリング代表取締役兼社長である柳井正さんの言葉です。

「失敗は必要。むしろできるだけ早く、失敗する方がいいでしょう。小さな失敗を積み重ねることによって成功が見えてくる。」

そして、柳井さんは、次のようなことも言っています。

「これから問われるのは自分の頭で判断して決めること。周りの空気隣の人の行動に左右されるなんてことは情けないことだ。」

パナソニックを一代で築き上げ、「経営の神様」と言われる、松下幸之助さんの言葉です。

「とにかく、考えてみることである。工夫してみることである。そして、やってみることである。失敗すればやり直せばいい。」

日本を作り上げてきた企業のトップは、同様に失敗を恐れるなどと言っています。人は失敗から多くを学び、そして、たくましくなり、成長していくのです。

また、柳井さんが言っている「周りの空気、隣の人の行動に左右されるなんてことは情けないことだ。」という言葉も、しっかりと受け止めていきましょう。自分で考えず、他人に同調することは良くないことですが、自分の考えがあっても、周りの空気、隣の人の行動を気にし、流されることはもっと良くないことです。その最たるものが「いじめ」だと、私は思っています。一人ひとりが自分で考え、判断し、行動していれば、1対1のけんかはあったとしても、1対多数というような「いじめ」はなくなるはず。 「いじめ」を含め、社会で認められないことは、学校でも認められません。「だめなものはだめ」と言える自分になると共に、互いに間違いを指摘し合える関係を作っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、先が見通せないところはありますが、学校は通常通りに行っています。対外的な練習試合や試合等は行えませんが、部活動も、明日から再開します。

しかしながら、感染拡大の状況によっては、再び、臨時休業となる可能性がありますので、学校を運営する上では、「学習保障」「授業時数の確保」「感染拡大の防止」を心掛けていきます。「学習保障」「授業時数の確保」に関わっては、行事は例年のように実施できませんし、現在、計画されているものも、状況によっては延期や中止となります。また、「感染拡大の防止」に関わっては、換気の悪い「密閉空間」、多数が集まる「密集場所」、間近で会話や発声をする「密接場面」に気をつけながら、学校をスタートさせます。二方向の窓を開けての換気の実施、コンテナ室での密集を避けるため、2時間目と3時間目の休み時間を10分とし、短縮した5分を昼休みに回して、学年ごと時間を区切っての食器等の運搬、テスト実施時の机の配置等々、取り組んでいます。何より大切なのは、皆さん一人ひとりの心掛けです。皆さんの自主的な取り組みも含め、この難局を乗り越えていきましょう。

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、

西澤 友子（養護教諭）

小伊藤裕子（養護助教諭）

廣田 和彦（教務主任） です

長野市立裾花中学校 文責 市川 寿（教頭）

電話：026(226)1804

FAX：026(226)1881

電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp

HP：<http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobana>

